

危険物新聞

第 5 9 4 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集
発行人 宮 崎 正 也

大阪市西区新町 1 丁目 5 番 7 号
四つ橋ビル

TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0

定価 1部 60円

全国危険物安全大会

消防庁長官表彰受賞！

杉浦敬久氏 (松原副会長)、高石ケミカル(株)



開会の挨拶をされる石井隆一消防庁長官

消防庁、(財)全国危険物安全協会では、平成15年度全国危険物安全大会を6月9日、東京都内の“スクワール麹町”において開催しました。

大会は石井消防庁長官、山越(財)全国危険物安全協会理事長出席のもと、全国消防長会会長、都道府県消防主管課長会会長など多数の来賓を迎え関係者等約400名の出席のもと開催されました。

式典では、消防庁長官表彰、危険物安全週間推進標語最優秀作品入賞者表彰、危険物事故防止対策論文入賞者表彰、(財)全国危険物安全協会理事長表彰が行なわれ、続いて(財)全国危険物安全協会創立十五周年に当り理事長より感謝状が贈られ、危険物安全大会宣言で式典が締めくくられました。

記念講演会では、特定非営利活動法人失敗学会・東

京大学大学院工学系研究科教授中尾政之氏による「事故の教訓の生かし方」の講演が行われました。

なお、当日、消防庁長官表彰、(財)全国危険物安全協会理事長表彰の受賞者で(財)大阪府危険物安全協会関係者は次の通りです。

◇消防庁長官表彰

■危険物保安功労者

▷杉浦敬久 (松原市火災予防協会会長)

■優良危険物関係事業所

▷高石ケミカル(株) (堺市高石市防災協会連合会)

◇(財)全国危険物安全協会理事長

■危険物保安功労者

▷萩原儀一 (枚方市寝屋川市防火協会連絡協議会)

▷小野貢 (忠岡町防火協力会)

▷児山芳彦 (河内長野市防火協会)

■危険物関係優良事業所

▷(株)関西テック石油事業部福岡工場 (大阪府危険物安全協会)

■創立15周年記念感謝状

▷宮崎正也 ((財)大阪府危険物安全協会専務理事)

大阪府危険物安全大会

6月18日、KKRホテル大阪で開催

大阪府・財大阪府危険物安全協会共催、大阪府下消防協会協賛のもと、平成15年度大阪府危険物安全大会が6月18日、KKRホテル大阪（大阪市中央区）において開催されました。

全国的には6月の第一日曜日から一週間を危険物安全週間と定め、危険物による災害防止を呼びかけているが、大阪府では、6月を危険物安全月間と定め、危険物に関する意識の高揚及び啓発、危険物関係事業所の自主保安体制の確立を図ることを目的としています。

この大会は、安全月間の主要な行事の一つで、府下の危険物関係者が一同に集い、危険物の保安に尽力し顕著な功績を収めた方々に対し、大阪府知事感謝状、並びに財大阪府危険物安全協会理事長表彰を贈呈し、その功労をたたえとともに記念講演会を行なうものであります。

今回は、総務庁消防庁より東尾消防庁次長を迎え、府下の消防関係者、危険物事業所関係者、府民など約300名の参加があり、盛大に開催されました。

第1部式典の部では太田房江大阪府知事の式辞に始まり、優良危険物事業所19社、優良危険物取扱者5名、危険物保安功労者1名にそれぞれ大阪府知事感謝状が贈呈されました。

続いて、財大阪府危険物安全協会理事長表彰に移り、優良危険物事業所22社、優良会員事業所6社、優良危険物取扱者3名、功労役員3名、安全管理に関する論文優秀賞受賞者2名にそれぞれ表彰状が贈呈されました。

引き続き、石井消防庁長官、大阪府議会議長並びに前川大阪府下消防協会会長の祝辞等があり、三好本協会理事長の閉会の辞で式典の部を終了しました。

第2部、記念講演会では天神橋三丁目商店街振興組合理事長・大阪商工会議所常議員小売部会長の土居年



開会の挨拶をされる孝石大阪府副知事

樹氏による「街はこわされる“街商人”のつぶえき」の講演が行われました。

なお、当日受賞された方々は次のとおりです

財大阪府知事感謝状受賞者

■優良危険物関係事業所

▷(株)アサヒカーゴサービス大阪（吹田）▷資生堂ホネケキ工業(株)（茨木）▷(株)スタンダード石油大阪販売所桜井給油所（箕面）▷(株)リーダー（八尾）▷松下電器産業(株)モータ社（大東）▷大阪倉庫(株)水走営業所（東大阪）▷松下電子部品(株)（守口・門真）▷日本保安管理保障(株)（枚方・寝屋川）▷塩野義製薬(株)中央研究所医薬研究開発本部（大阪）▷松田敏商店（大阪）▷パーフェクトリパティエー教団（富田林）▷山本石油販売(株)（美原）▷協和発酵工業(株)化学品カンパニー堺受渡場（堺・高石）▷日鐵建材工業(株)大阪製造所（堺・高石）▷タカビシ化学(株)（塚）▷東洋製罐(株)大阪工場（泉佐野）▷西部石油(株)（泉佐野）▷昭和化学工業(株)（泉南）▷竹中石油商(株)（阪南岬）

■優良危険物取扱者

▷石井卓郎（東大阪）▷青木亘（大阪）▷大森勝美（大阪）▷鴨田光司（堺・高石）▷中尾憲弘（堺・高石）

■危険物保安功労者

▷岸下隆（大阪）

財大阪府危険物安全協会理事長表彰受賞者

■優良危険物事業所

▷大和化学工業(株)（大阪）▷稲畑香料(株)（大阪）

▷丸石製薬(株)今津工場 (大阪) ▷佐藤特殊製油(株)本社工場 (大阪) ▷浅田鉄工(株) (大阪) ▷安威川ゴルフ(株) (茨木) ▷香島建設(株) (摂津) ▷孫田石油(株) (吹田) ▷日通商事(株)大阪支店 (守口・門真)▷モリタ石油産業(株) (大東) ▷(株)日阪製作所鴻池事務所 (東大阪) ▷(株)第一塗料製造所 (東大阪)▷日本ドリームサービス(株) (八尾) ▷三宝商会 (八尾) ▷古林紙工(株)藤井寺工場 (柏・羽・藤) ▷木下工業(株)堺アスコン工場 (堺・高石) ▷(株)好 (堺・高石) ▷(株)朝日新聞製作本部堺工場 (堺・高石)▷幸和産業(株)堺工場 (泉大津) ▷明光運輸(株)岸和田営業所 (岸和田) ▷(株)川上商店 (泉佐野) ▷富尾石油(株) (和泉)

■優良会員事業所

▷大日本除虫菊(株)大阪工場 (豊中) ▷いすゞ自動

車近畿(株)寝屋川サービスセンター (枚方・寝屋川)▷(株)初田製作所 (枚方・寝屋川) ▷SEI生駒セミナーハウス (四条畷)▷大川創業(株) (大東) ▷(社)福延寿会 (貝塚)

■優良危険物取扱者

▷真砂進 (大阪) ▷北井敏晴 (河内長野) ▷屋宜道男 (堺・高石)

■功労役員等

西田勲 (箕面) ▷安田雄信 (摂津) ▷福田義之 (阪南岬)

■論文優良受賞者

▷杉山僚 (武田薬品工業(株)) ▷高橋秀行 (ライオン(株)大阪工場)

危険物施設安全推進講演会開催

6月11日、KKRホテル大阪で

全国危険物安全週間の一環として、危険物安全推進協議会では、6月11日、KKRホテル大阪で平成15年度危険物施設設置安全推進講演会を開催しました。

本年は、6月10日の東京会場と11日の大阪会場の両会場で行われ、大阪会場では、約250名の危険物事業所・消防関係者等が参加しました。



開会の挨拶をされる消防庁佐藤危険物保安室課長補佐様

総務省消防庁危険物保安室課長補佐藤建五氏及び大阪府総務部危機管理室消防救助課長安田裕氏による開会の挨拶後、基調講演として、東京大学大学院工学研究科助教土橋律氏による「危険物災害と災害防止の最近の動向」の講演があり、引き続き、事故事例として独立行政法人消防研究所基礎研究部主任研究官西晴

樹氏による北海道苫小牧市の製油所で発生した空気冷却機・バイパス配管の腐食に起因すると見られる爆発火災事故の「重油直接脱硫装置火災事故原因調査について」と横浜市消防局消防本部予防部指導課長浜岡和友氏による、タンカーからハイオクガソリンを受入中にインナーフロートタンクが爆発、火災事故となった「大東通商(株)横濱油槽所No.21タンク火災の概要と安全対策について」の報告があり、講演会を終了しました。

主催大阪市消防局・後援大阪市危険物安全協会 危険物の安全管理に関する講演会開催

大阪市消防局主催、大阪市危険物防火連合協議会後援、(財)大阪市消防振興協会・大阪市危険物安全協会後援のもと、6月12日、大阪市中央区にある“ヴィアレー大阪”で平成15年度「危険物の安全管理に関する講演会」が開催されました。

大阪市消防局長前川大恵氏及び大阪市危険物防火連合協議会長伊藤頼夫氏による開会の挨拶後、独立行政法人消防研究所基盤研究部物質安全研究グループ長古積西博氏による「事故事例から学ぶ、危険物の安全対策」講演が行われました。

当日は約250名の危険物事業所・消防関係者等が参加し、熱心な聴講の後、16時過ぎ終了しました。

懸賞論文入選作決まる

優良賞に杉山、高橋氏が

財大阪府危険物安全協会では、「平成15年度 危険物安全管理に関する論文」を募集していたが、優良賞に杉山氏、高橋氏が、佳作に関氏、大内氏、吉村氏がそれぞれ入選されました。

(第1部 製造、取扱い部門)

〈優良賞〉

- ・「危険物を安全に取り扱うために」
(火災爆発事故防止の取り組み)
武田薬品工業㈱ 杉山 僚
- ・「災害事例から学ぶ安全への意識改革」
ライオン㈱大阪工場 高橋 秀行

〈佳作〉

- ・「危険物取扱と運用について」
大阪印刷インキ製造㈱本社工場 関 忠弘

(第2部 貯蔵、流通、販売部門)

〈佳作〉

- ・「航空機給油施設に於ける安全管理及び対策について」
関西国際空港給油㈱ 大内 清一
- ・「ガソリンスタンドにおける安全管理、事故防止対策について」
尾崎石油㈱ 吉村 仁志

安全への道 26

「東北地震で思うこと」

三村 和男

去る5月26日、東北地方を中心に震度6弱、マグニチュード(M)7.0の強い地震があった。25年前、死者28人、重油等の大量漏れがあった宮城県沖地震と比べ同じM7級で、震度も大きかったのに被害は小さかった。その理由を専門家は、「震源の深さが宮城県沖地震の約40kmに比べ、今回は約70kmと深く、被害の起きにくい地震波だったことが挙げられる」と推測している。調査分析によりきちっと検証して欲しい。

宮城県沖地震では、仙台のT製油所で貯蔵タンク3基が破損(いずれもタンク側板とアニユラ板との溶接部が破断、屋根、側板上部が座屈)し、約68000㎏の危険物が漏洩した。これらは防油堤を超え、または防油堤の地盤を洗掘して流出し、構内道路等流れて製油所構内に拡散、総合排水路に設けられている緊急ゲートの隙間を通じて一部(3千~5千㎏)が海上に流出した。

このような大量漏洩は、今回および阪神大震災でも発生していない。しかし、それで安全が検証されたとはいえない。震害は、地震および地盤の特性と、地盤上の構造物との関係でその程度が変わるといわれる。地震の都度、震害を検証して得られた知見を一つ一つ積み重ねていくことが大事である。

筆者は宮城県沖地震のとき、東京のJR浜松町駅ホームにいた。地震後1時間ほどたった午後6時を過ぎ

時代をリードする
アクション&ハイテクノロジー

SUPER GYRO LADDER ACT

先端屈折はしご車 MLJS4-30

高所等での消火・救助活動をサポートする
先端のはしごが屈折する両用型のはしご車

SUPER GYRO LADDER WT

水路付はしご車 MLGS4-30W

高所等での消火活動に威力を発揮する
水が容易に放水の水路付はしご車

MURITA

NEW KOMBINAT SYSTEM

大型高所放水車
MQA2-22

〔省力化合格機種〕

大型化学車
MC-BC

泡原液搬送車

〒544-0265 大阪市東淀川区小島東1丁目5番20号
Tel 06-6756-0110 Fax 06-6754-3461
東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 富山 和山

株式会社モリタ

ていた。フォームには家路を急ぐ多くの人があった。構内放送が流れ、「今から一時間ほど前、東北地方にかなり大きな地震があったようで、列車の運行がかなり乱れており、列車はいつくるか分かりません」と繰り返すばかりだった。

しばらくして列車がきた。それからが大変だった。窓から降りる人、乗りこもうとする人でフォームは騒然。「仙台の地震でこの騒ぎだ、東京で起ったらどうなるんだろう？。いったいどうなっているんだ」など不安をにじませた人々から怒号が飛びかう。夕闇迫るあの光景は今も忘れていない。

今から30数年をさかのぼる1964年9月、名古屋で震度4の地震を体験した。そのときの地震はかつての濃尾地震(明治24年-1891年、死者7273人)など大きな地震を引き起こしている福井県から岐阜県を抜ける「根尾谷断層」が震源であった。筆者がいた工場では1951年の操業開始以来はじめての大きな地震であり、防災技術を担当して5年半が過ぎていた。とにかく事実をできる限り正確に記録しておかねばと、被害状況、オペレーターの行動、証言を集めた。化学プラントについて残されている記録の一部を紹介する。

「プラントは、自動または手動で緊急停止する。一部は運転を続行していたものもある。

耐震性が乏しいカーボン配管などは破損したが、漏洩を局所化するための緊急遮断弁を手動停止したので大量漏洩はなかった。

蒸留塔は、揺れるというよりもS字型に曲ったように見え今にも壊れそうだった。塔内のラシヒリング(充

填物)が踊る音と配管がこすれあう音がものすごかった。人の声は全く聞きとれないほどだ。

危険物貯蔵タンクの液拔出しラインに設けた遠隔操作方式の緊急遮断弁は殆んど操作していない。

制御感震器は既に1台設置されていたが、震度5に設定(警報のみ)してあったので作動せず。今後、制御感震器との連動によるプラント運転および重要な緊急遮断弁の自動停止が必要である」。

制御感震器の強化について、1978年、大規模地震対策特別措置法の制定を契機に、化学系4工場に2 out of 3方式で設置し、感震器との連動による運転の自動停止化を提言。実現するのになんと8年かった。(1987年の千葉県東方沖地震[震度5]の経験と教訓が実現の契機となる)。

東南海、南海地震の発生は確実に迫っている。明日にでもくるかも知れない危機意識をもって、被害の極少化を目指した日々の努力が望まれる。温故知新、過去の地震とその教訓の記録をもう一度読みなおして欲しいものだ。

注1) 震度6弱：立っていることが難しい。多くの家具が移動、転倒。弱い建物は倒壊するものがあり、鉄筋コンクリート造でも壁や柱に亀裂が生じる。地割れ、山崩れが生じることがある。

注2) 2out of 3方式：3台設置し、2台が同時に作動したら運転を自動停止させる方式。

——平成15年度 危険物安全週間推進標語——

危険物 無事故の主演は あなたです

お好きな色を…!

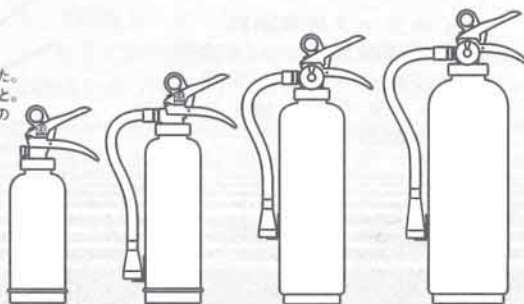
お客様の声をカタチにできるブランナーを目指します。

おかげ様で100年の長きにわたり消火器・消火設備の総合メーカーとして歩むことができました。長い歩みを振り返り、私たちが考える将来の企業像は「もっとお客様に近い会社」であること。謙虚な気持ちで原点に立ち戻り、お客様のニーズに合った商品開発・ご提案を通して、社会の利益に貢献したいと考えています。

HATSUTA

株式会社 初田製作所

本社 〒573-1132 大阪府枚方市稲穂田3-5 TEL (072) 656-1261
 東京支社 〒140-0013 東京都品川区南大井2-9-3 TEL (03) 5471-7411
 関西支社 〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-9-47 TEL (06) 6473-4870



第2回 危険物取扱者試験
10月5日(日)、近大で

財消防試験研究センター大阪府支部では、平成15年度第2回危険物取扱者試験を10月5日(日)、東大阪市の近畿大学で次のとおり実施します。

試験日	10月5日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種、4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	近畿大学(東大阪市)
願書受付日	9月3日(水)、4日(木)、5日(金)
願書受付場所	財消防試験研究センター 大阪市中央区谷町2-2-22、NSビル9F TEL06-6941-8430

※試験当日の会場集合時間は次のとおりです。
・午前……9時30分(試験開始10時より)
・午後……13時(試験開始13時30分より)

〔受験資格について〕

- 甲種
- ① 高専・短大及び大学で化学に関する学科又は課程を卒業した者。
 - ② 高専・短大及び大学で化学の授業科目を15単位以上取得した者。(在学中でも可)
 - ③ 乙種免状交付後、2年以上危険物取扱の実務経験者。

乙種 受験資格の制限はありません。

丙種 受験資格の制限はありません。

危険物取扱者試験準備講習会

平成15年度第2回危険物取扱者試験が実施されるに伴い財大阪府危険物安全協会では、危険物取扱者の資格取得のための受講準備講習会を次のとおり開催します。

〔受験準備講習会は府下11会場で〕

準備講習会の受付は、8月26日(火)から府下9受付会場で行ないます。

また、準備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について大阪、堺、枚方、東大阪、高槻など府下10会場で実施します。(詳細については8頁参照のこと)

当講習会では過去に出題された問題やその傾向を詳細に分析し、また、各講師の的をしぼった判り易い講義が行なわれるので、受講者の合格率は非常に高い数字を修めています。

〔乙4土曜・日曜コースは電話予約を〕

乙種4類、土曜コース・日曜コース(両コースとも定員140名)は、希望者が多数の為、電話予約による受付を行なっています。

受講希望者は、電話(06-6531-9717)で、予約受付してください。(ただし、満席になり次第締切させていただきます。)

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN
TEL 06(6358)9467(代表)

株式会社技研

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番1号 工研ビル ☎6358-9467-8

平成15年度第1回 免状交付申請

試験合格者は7月9日、10日手続を

去る6月8日に平成15年度第1回危険物取扱者試験が近畿大学で行なわれましたが、その結果が6月27日に発表されます。

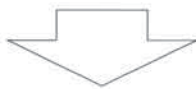
また、合格者への免状交付申請は7月9日(水)、10日(木)に財消防試験研究センター大阪府支部において下記のとおり行なわれます。

記

- ・ 交付申請日時 7月9日(水)、10日(木)
9時30分～12時及び13時～16時30分
- ・ 申請場所 財消防試験研究センター大阪府支部
大阪市中央区谷町2-2-22、NSビル9F
TEL06-6941-8430
- ・ 免状交付 申請後、約1ヶ月後に郵送

免状交付手続の流れ

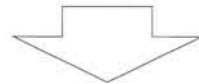
- ① **試験に合格**
センターより合格通知のハガキが郵送されて来る。



免状の申請手続

手続に必要なものは次のとおり。

- ・ 合格通知のハガキ
(氏名・電話番号を記入)
- ・ 2,800円の証紙
(7月9日～10日には申請会場で発売予定)
- ② 交付免状返信用封筒 (注1)
 - ・ 大きさ：定型 長形3号又は4号
(9×20.5cm又は12×23.5cmぐらい)
 - ・ 封筒の表側に送付先住所・氏名を記入
(自宅又は勤務先等郵送を希望する場所)
 - ・ 290円切手を貼付
- ・ 既得免状のある方は、その既得免状



交付免状郵送

- ③ 申請後、1ヶ月後ぐらいにセンターより交付免状が送付されてきます。

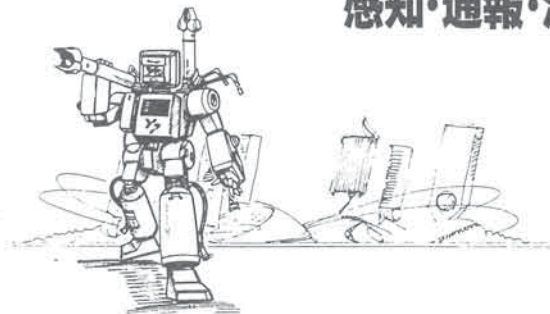
[注1 複数の免状の一括送付について]

合格者が複数のときは一括して送付することができます。その時は、封筒の裏面に人数分の受験番号、氏名列記すること。また、免状の枚数ごとの送料は下記のとおり。

免状枚数	重 さ	切手代(配達記録代含む)	
1～7枚	25gまで	290円	定型 (長形3号又は4号)
8～14枚	50gまで	300円	
15～28枚	100gまで	400円	定型外
29～70枚	250gまで	480円	
71～140枚	500gまで	600円	
141～280枚	1kgまで	910円	



防火設備はさまざまな防火機器やシステムによる安全の構築です。
総合防災メーカー・ヤママトロテックは、感度を知らずとも消す「消す」を、安全確保のベースとして、ヒューマンベースのシステムとして、完成させています。
防火による構造環境づくりのローコストには、センサーが重要な役割を果たします。



かんじる しらせる けす
感知・通報・消火

・や・り・に・く・。・

ヤマトスロテック株式会社

本社 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)6976-0701代 東京本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代

消防防災設備 プラント防災設備 設備・業務設備 各種防火器

危険物取扱者準備講習のご案内

平成15年度第2回危険物取扱者試験実施に際し、受験者予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	9月24日(水)、9月26日(金)、9月30日(火)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅17号出口スグ)
乙種	1コース	9月18日(木)、9月19日(金)	大阪府商工会館
	2コース	9月29日(月)、9月30日(火)	大阪府商工会館
	3コース	9月25日(木)、9月26日(金)	堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)
	4コース	9月24日(水)、9月25日(木)	北河内府民センター (京阪 枚方市駅ヨリ約5分)
	5コース	9月18日(木)、9月19日(金)	東大阪市民会館 (近鉄奈良線 永和駅ヨリスグ)
	6コース	9月16日(火)、9月17日(水)	高槻市消防本部 (JR 阪急高槻駅ヨリ10分)
	土曜コース	9月20日(土)、9月27日(土)	大阪府商工会館
日曜コース	9月21日(日)、9月28日(日)	大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線本町駅ヨリ5分)	
丙種	9月29日(月)	9時30分～16時30分	大阪府商工会館

(注)甲種は3日間で、乙種(1コース～6コース)と土曜・日曜コースは2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内にお願いします。
- ② 各受付場所とも、各講習会場の受付数を割当てしていますので、満席の節は受付ができませんからご了承下さい。
- ③ 申込手続きは代理でも結構です。

受付場所	日時
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分)	豊中防火安全協会 8月26日(火) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内 (JR・阪急・茨木駅より13分)	茨木市災害予防協会 8月27日(水) 午前10:00～11:30
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協力会 8月28日(木) 午前10:00～11:30
守口消防署内 (地下鉄守口駅前)	守口門真防火協会 8月28日(木) 午後2:00～4:00
枚方寝屋川消防本部 (京阪・枚方市駅より5分)	枚方市寝屋川市防火協会 8月29日(金) 午前10:00～11:30
高槻市消防本部内 (JR・阪急高槻駅より10分)	高槻市火災予防協会 8月29日(金) 午後2:00～4:00
岸和田市消防本部内 (南海・岸和田駅より西へ10分)	岸和田市火災予防協会 9月1日(月) 午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内 (南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会 9月1日(月) 午後2:00～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会 9月2日(火) 3日間とも
	9月3日(水) 午前9:30～午後4:30
	9月4日(木) ただし、正午から40分間昼食休み

3. 土曜・日曜コースの申込方法

土曜コース(定員140名)、日曜コース(定員140名)は電話(06-6531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 受講料

テキスト不要の場合は、甲種・乙種、各2,000円割引(テキストは平成15年度用改訂版を使用)

種別	会員	会員外
甲種	16,800円	18,900円
乙種	12,600円	14,700円
乙種(土曜コース)	13,650円	15,750円
乙種(日曜コース)	14,700円	16,800円
丙種	6,300円	7,350円